

R4 保護者アンケートの結果

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R4. 7月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標を知っていますか。	9	20	4	0	3.2
2	学校は、子どもたちに楽しく、分かりやすい指導をしていると思いますか。	14	15	3	0	3.3
3	お子さんは、家庭での学習に進んで取り組み、学習習慣が定着していますか。	8	22	3	0	3.2
4	お子さんは、家庭で進んで読書をしていますか。	6	11	13	3	2.6
5	ご家庭では、基本的な学習習慣や生活習慣が身につくように言葉かけをしていますか。	11	22	0	0	3.3
6	学校は、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	11	19	2	1	3.2
7	ご家庭では、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	15	17	1	0	3.4
8	学校は、いじめ防止(なかよしアンケートの実施、児童との面談など)の対策を行い、いじめが起きた場合は、迅速に対応していますか。	12	18	2	0	3.3
9	お子さんは、毎日楽しく学校に登校していると思いますか。	20	11	1	1	3.5
10	ご家庭では、お子さんの話を聞いたり、一緒に活動をしたりするなど、ふれあいの時間をもたれていますか。	17	16	0	0	3.5
11	学校は、地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいると思いますか。	17	14	2	0	3.5
12	ご家庭では、外遊びを奨励したり、一緒に運動をしたりされていますか。	10	19	4	0	3.2
13	お子さんは、家でも食後の歯みがきをしていますか。	11	16	6	0	3.2
14	お子さんは、毎日「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。	10	18	4	1	3.1
15	学校は、児童の安全指導(交通安全や火災・地震・不審者対応など)を定期的に行っていますが、ご家庭でも緊急時の対応についての話をされていますか。	7	19	7	0	3.0
16	学校便りや授業参観等でお子さんの学校での様子や授業の様子を知ることができましたか。	16	16	0	1	3.4
17	小学校と中学校が連携して活動していることを知っていますか。	17	14	2	0	3.5
18	お子さんのことで困ったことがあった時には、気軽に学校に相談できますか。	17	14	1	1	3.4

・18項目中、4項目(9「毎日楽しく登校」、10「家庭でのふれあい」、11「地域や社会の人と体験」、17「小中学校が連携」)は、平均3.5ポイントと評価が最も高かった。また、5「家庭での学習・生活習慣」、10「家庭でのふれあい」は、「ややあてはまる」「よくあてはまる」と肯定的な回答をされた方が100%であった。このことから、保護者の方々がお忙しい中でも子どもたちとのふれあいを大切にされており、家庭において、基本的学習習慣や生活習慣の形成に高い意識をもたれていることが分かる。小中学校が連携して教育活動を行ったり、コロナ禍でも、できる限り地域や社会の人々と関わりながら体験活動等を行ったりしていることも評価されている。

・6「学校は礼儀等を育む取り組みをしている」、9「毎日楽しく登校」、18「困ったことは気軽に学校に相談」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答されている方が少数でも複数いらっしゃることを受け止め、スクールカウンセラー等を含めた職員がチームで対応し、より良い学校作りについて考えていきたい。

・4「家庭で読書」は、平均2.6ポイントで全項目中、評価が一番低かったが、前年度の同時期と比べると、0.2ポイント上昇している。引き続き、家庭と連携して習慣づけられるように手立てを考えていきたい。また、14「早寝・早起き・朝ごはん」、15「家庭での安全指導」についても、その重要性について学校と保護者が一緒に考えられるような啓発を行っていきたい。

R4児童アンケートの結果

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R4.7月

	項 目	4	3	2	1	【平均】
1	先生は、学校の勉強を分かりやすく教えてくれますか。	30	4	0	0	3.9
2	授業中は、集中して学習に取り組んでいますか。	19	15	0	0	3.6
3	家庭での学習に進んで取り組んでいますか。	17	11	5	1	3.3
4	進んで読書に取り組んでいますか。	17	12	4	1	3.3
5	学習用具をわすれずに学校へ持ってきていますか。	13	17	4	0	3.3
6	誰にでもあいさつや返事をする事ができていますか。	28	5	1	0	3.8
7	「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う事ができていますか。	32	2	0	0	3.9
8	時計を見て、考えて行動していますか。	21	11	2	0	3.6
9	ろうかには静かに右側を歩く事ができていますか。	24	10	0	0	3.7
10	無言で、時間いっぱい掃除をする事ができていますか。	18	14	2	0	3.5
11	友だちとなかよく助け合って、楽しく生活する事ができていますか。	30	3	1	0	3.9
12	困った時は、先生・家族・友だちなどに相談する事ができますか。	22	7	3	2	3.4
13	外で元気に遊んだり、進んで「げんきタイム」に取り組んだりしていますか。	29	5	0	0	3.9
14	毎日「早ね・早おき・朝ごはん」ができていますか。	20	12	1	1	3.5
15	学校や家で、ていねいに歯みがきをしていますか	26	8	0	0	3.8
16	ハンカチ、ティッシュ、マスクをわすれずに学校へ持ってきていますか。	23	8	3	0	3.6
17	災害(地震・火事・大雨など)の時、身を守る行動ができますか。	32	1	1	0	3.9
18	交通事故やけがに気をつけて、安全な生活ができていますか。	33	1	0	0	4.0
19	中学校の先生や中学生といっしょに活動することは好きですか。	26	3	3	2	3.6
20	地域の人とふれあう活動は、楽しいですか。	26	6	2	0	3.7

・20項目中7項目は、100%の児童が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と答えている。その中でも、18「事故やけがに気をつけて、安全な生活」については4.0ポイントと特に高く、児童が自分の身を守り、落ち着いて生活していることがわかる。

・1「先生は、わかりやすく教えてくれる」、7「ありがとう、ごめんなさいが言える」、13「外で元気に遊ぶ」も100%の児童が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と答えており、それぞれ3.9とポイントも高い。職員との信頼関係の中で安心して学んだり、素直な気持ちで人と接することができる様子が見える。また、全ての児童が体を動かして遊ぶ楽しみを味わっていることがわかる。

・3「家庭学習」、4「進んで読書」、5「学習用具の準備」は、平均3.3ポイントで最も評価が低い。家庭と連携し、児童が意識できるような基本的な生活習慣、学習習慣、読書習慣を育んでいきたい。

・12「困った時は、誰かに相談」は、5名の児童が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している。児童に関わる職員の日常的な声かけや観察だけでなく、『SOSの出し方』などを学ぶ活動を授業で取り入れたり、スクールカウンセラーと連携して児童の困り感を解消する方法を知る機会を設けたりして、児童を支える体制を整えたい。

R4職員アンケートの結果

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R4.7月

	項 目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	4	7	0	0	3.4
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	5	5	1	0	3.4
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	4	7	0	0	3.4
4	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	6	5	0	0	3.5
5	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	3	6	2	0	3.1
6	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	6	4	1	0	3.5
7	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	9	2	0	0	3.8
8	地域や社会の様々な人と出会う機会を作り、人の生き方にふれる活動を仕組んでいる。	7	4	0	0	3.6
9	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	3	7	1	0	3.2
10	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	1	8	2	0	2.9
11	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	4	6	1	0	3.3
12	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	5	5	1	0	3.4
13	学級だよりを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	6	5	0	0	3.5
14	学習指導において、9年間の学びの連続性を意識して授業を行っている。	4	6	1	0	3.3
15	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導にいかしている。	4	6	1	0	3.3

・15項目中6項目において、100%の職員が「ややあてはまる」「よくあてはまる」と肯定的な回答をしている。その中でも、7「他の職員と連携した指導や対応」は、平均3.8で特にポイントが高く、複式学級や異学年合同授業など、本校の特徴に合わせて、職員がチームで児童を育む意識が高まっている。また、8「地域や社会の人々とふれあう活動」の大切さを職員が強く認識しており、今後も感染対策を行いながら継続していきたい。

・10「計画的な食育指導」については、2.9ポイントと全項目中、評価が一番低かった。コロナ禍が続き、ランチルーム給食ができない状況ではあるが、栄養教諭と担任が連携し、学級活動や給食指導において、積極的に食育指導を行うように改善していきたい。

・教職経験年数が少ない職員も多いが、学習指導や生活指導、学級経営、特別支援教育、ICT教育などについて、校内研修や教育センター等における研修を積み重ねて研鑽を深め、ひたむきに児童と向き合う職員チームをめざしたい。